

都島区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第26号

令和5年1月発行



フードドライブ開催中 「もったいない」を「ありがとう」に

令和4年1月から毎月第4木曜日の午後2時～午後3時30分に都島区役所正面玄関ロビーにて、フードドライブ及びごみの相談会を開催しています。

このフードドライブは、都島区民の皆さまから「家で食べきれない」、「買いすぎた」、「もらったけどいらない」など「食べられるけどうちではいらない」食品等を提供していただき、都島区社会福祉協議会を通じて、都島区内の生活支援を必要とされる御家庭等へ無償で譲渡する活動です。

みなさまの地域で、フードドライブ受付を開催してみませんか！

「区役所に持って行きたいけど平日は仕事で行けない。」「区役所までは、遠いので近くでフードドライブがあれば持って行きたい。」などの声も上がっています。地域で参加しやすい環境をつくりませんか。

☆ みなさまの支援をお待ちしています。 ☆

令和4年1月からの1年間で、お米・缶詰・インスタント食品・調味料・お菓子などの食品等の総数が **925点**・総重量 **224kg** も御提供いただきました。



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



12 つくる責任
つかう責任



海洋プラスチックごみについて

私たちにできること

海洋プラスチックごみと言えば、浜辺に散乱したごみをイメージすると思いますが、街中に散らばっているペットボトル・ビニール袋などのごみが雨風によって河川などに運ばれて海に流れ込み、波などによって砕かれたり、紫外線で分解されたりして、小さなプラスチック片となり海にたどり着きます。その(※1)5ミリメートル以下のマイクロプラスチックごみが大きな問題になっています！

海に流れるプラスチックごみの量は、世界中でなんと年間で(※1)**約800万トン**！東京ドーム**約7個分**の重量に匹敵する量です。2050年には、海洋に生息する魚などの量を海洋プラスチックごみの量が超えると言われています。

海洋プラスチック問題は、海の生き物と私たちの健康へも影響があります。例えば、カメはビニール袋をクラゲだと認識して口に入れてしまい体内で消化されず胃の中に蓄積することで、栄養失調に陥るケースが増えています。非常に小さいマイクロプラスチックは、プランクトンでさえも飲み込むことができ、そのプランクトンを飲み込んだ魚を私たちが食べることで、私たちの体内にもプラスチックは蓄積していきます。

マイクロプラスチックをなくすため、私たち一人ひとりにできる取り組みを考えていきましょう。

※1 大阪市環境局環境保全「マイクロプラスチックとは」より

例えば

・エコバックを持ち歩く ・マイボトルを持ち歩く ・ポイ捨てはしない
・再資源化できるごみは、分別をする(例えば、ペットボトル回収)など
みなさま 街、河川、公園の清掃活動に積極的に参加をしませんか！
みんなでマイクロプラスチックごみを減らし

綺麗な海を守りましょう！



《編集・発行》

大阪市環境局 東北環境事業センター

大阪市東淀川区上新庄 1-2-20

TEL: 06-6323-3511 FAX: 06-6370-3951

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

